

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 06299641
PUBLICATION DATE : 25-10-94

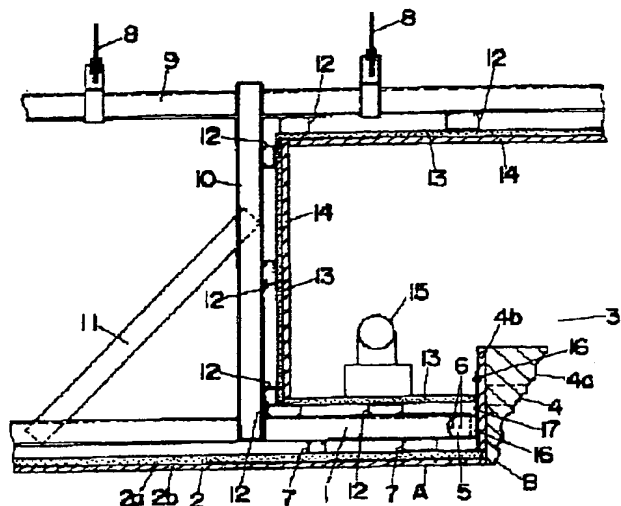
APPLICATION DATE : 15-04-93
APPLICATION NUMBER : 05088353

APPLICANT : MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD;

INVENTOR : NANBU YOSHIKI;

INT.CL. : E04B 9/00

TITLE : DECORATIVE CEILING



ABSTRACT : PURPOSE: To facilitate the attachment of a decorative edge with no retardation, and to optionally change the condition of the attachment thereof at a job-site.

CONSTITUTION: A ceiling plate 2 is laid on a ceiling base 1 so as to constitute a ceiling A. A recess 3 which is recessed toward the rear side of the ceiling is formed in one part of the ceiling A. An end edge of the ceiling A which projects into the recess 3 is provided with a decorative edge 4. Coupling pieces 5 projected from the rear surface of the decorative edge 4 is made to abut against one side surface of the front end part of the ceiling base 1. Further, the ceiling base 1 and the coupling piece 5 are fastened together by fixtures 6.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-299641

(43) 公開日 平成6年(1994)10月25日

(51) Int.Cl.⁵

E 0 4 B 9/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

7521-2E

E 0 4 B 5/ 52

R

7521-2E

J

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平5-88353

(22) 出願口 平成5年(1993)4月15日

(71) 出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72) 発明者 永田 豪

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72) 発明者 中林 博

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72) 発明者 南部 嘉明

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

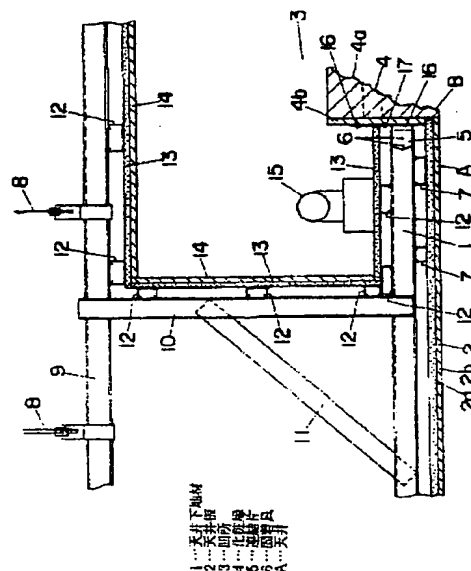
(74) 代理人 弁理士 石田 長七 (外2名)

(54) 【発明の名称】 飾り天井

(57) 【要約】

【目的】化粧縁の取付けを手間取ることなく簡易に行う。施工現場にて取付状態を任意に変えることができるようにする。

【構成】天井地下材1の下面側に天井板2を設置して天井Aを構成する。天井Aの一部に天井裏に向けて凹んだ凹所3を形成する。凹所3内に突出する天井Aの端縁に化粧縁4を配設する。化粧縁4の裏面より突設された連結片5を天井地下材1の先端部の側面に当接する。天井地下材1と連結片5を固着具6にて連結固定する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 天井下地材の下面側に天井板を設置して構成される天井の一部に天井裏に向けて凹んだ凹所を形成し、凹所内に突出する天井の端縁に化粧縁を配設し、化粧縁の裏面より突設された連結片を天井下地材の先端部の側面に当接し、天井下地材と連結片を固着具にて連結固定して成ることを特徴とする飾り天井。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、天井に立体感を与えて高級感をだすことができる飾り天井に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、天井部に形成される飾り天井Bにおいては、図5に示されるようにリップみぞ型鋼のような天井下地材1の下面側に石膏ボード2aやロックウール吸音板2b等の天井板2を設けて天井Aが形成されており、この天井Aの一部に天井裏に向けて凹んだ凹所3を形成し、この凹所3内に突出する天井Aの端縁に化粧縁4を取付けて構成されていた。この化粧縁4の取付けは天井下地材1の端部にリップみぞ型鋼等によって形成される支持金具20を溶接aによって固定し、この支持金具20の外面に化粧縁4としての石膏ボードまたはベニヤ合板等の下地材4bを取着すると共に下地材4bの外面に廻り縁4aを取付けるようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、上述のような従来例にあっては、天井下地材1の先端に支持金具20を溶接aによって固定するようになっているために、溶接作業という特殊な取付作業を施工現場にて行う必要があり、溶接固定を行うための専用の道具と溶接作業を行うことができる作業員が必要であり、支持金具20の取付け及び化粧縁4の取付けに手間がかかるという問題があった。また、溶接固定という特殊な取付けによって支持金具20を天井下地材1に取付けるようになっているために一旦固定してしまうと取付位置を変えることができず、化粧縁4の取付状態を現場にて任意に位置調整することができないという問題があった。

【0004】 本発明は上記問題点の解決を目的とするものであり、化粧縁の取付けを手間取ることなく簡易に行うことができると共に施工現場にて取付状態を任意に変えることができる飾り天井を提供しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明では、上記目的を達成するために、天井下地材1の下面側に天井板2を設置して構成される天井Aの一部に天井裏に向けて凹んだ凹所3を形成し、凹所3内に突出する天井Aの端縁に化粧縁4を配設し、化粧縁4の裏面より突設された連結片5を天井下地材1の先端部の側面に当接し、天井下地材

2

1と連結片5を固着具6にて連結固定したものである。

【0006】

【作用】 しかし、固着具6による連結によって化粧縁4の取付けを行うことができ、溶接作業のような特殊な作業を行わなくとも簡易に化粧縁4の取付けを行うことができる。また、天井下地材1の側面に当接された連結片5を固着具6にて天井下地材1に固着するようになっているために、施工現場で天井下地材1への連結片5の当接位置を変えることで天井下地材1への連結片5の連結状態を調整して化粧縁4の取付状態を任意に調整することができる。

【0007】

【実施例】 以下、本発明を図示された実施例に基づいて詳述する。飾り天井Bが形成される天井Aは、図1に示されるようにリップみぞ型鋼等によって形成される天井下地材1の下面側に補強部材7を介して石膏ボード2a、ロックウール吸音板2b等の天井板2を設けて構成されており、この天井Aは吊りボルト8によって支持された支持部材9に対して吊り下げ部材10によって吊り下げ保持されている。吊り下げ部材10は上端を支持部材9に固定すると共に下端を天井下地材1に固定して支持部材9と天井下地材1との間に架設されており、吊り下げ部材10の長手方向の中間部と天井下地材1との間には補強片11が架設されている。

【0008】 天井Aの所定箇所には天井裏に向けて凹んだ凹所3が部分的に形成されており、凹所3内に突出する天井Aの端縁には化粧縁4が設けられており、これによって天井Aに飾り天井Bが形成されている。隣合う天井下地材1、吊り下げ部材10、支持部材9間には補強バー12が架設されており、補強バー12には石膏ボード13が添設されている。吊り下げ部材10と支持部材9に設けられた補強バー12に添設された石膏ボード13には内装材としてのロックウール吸音板14が添設されている。天井下地材1の上方に配された石膏ボード13上には照明器具15が設置されており、この照明器具15によって飾り天井Bから室内を間接照明するようになっている。

【0009】 化粧縁4は裏面に凹凸模様が設けられた廻り縁4aと廻り縁4aの背面側に添設された石膏ボードやベニヤ合板等の下地材4bとで構成されており、下地材4bの背面側には連結部材16が連結固定されている。連結部材16は図2に示されるように薄板状の固定板17と、固定板17より一体に突設された連結片5とで主体が構成されている。連結片5には固着具6が打入される通孔5aが複数穿設されており、この連結片5を天井下地材1の側面に当接して通孔5aを介して天井下地材1に木ネジや連結ボルト等の固着具6を打入することで連結片5と天井下地材1とが相互に連結固定されている。ここで、固着具6によって天井下地材1に連結片5を連結固定するにあたり、天井下地材1への連結片5

3

の当接位置を変えて天井下地材1と連結片5とを連結することで図3、図4に示されるように天井下地材1に対する連結部材16の連結状態を任意に調整することができるようにしている。また、一旦連結した後も固着具6を緩めることで天井下地材1に対する連結片5の取付位置を変えることができ、施工現場での天井下地材1に対する連結片5の取付位置を自在に調整することができるようになっており、これによって化粧縁4の取付角度に応じて天井下地材1への連結部材16の連結状態を自在に調整できるようになっている。

【0010】しかし、天井Aに飾り天井Bを形成するにあたっては、固着具6によって天井下地材1の側面に連結部材16の連結片5を連結固定し、連結部材16の固定片17に石膏ボードまたはベニヤ合板等の下地材4bをビス止めによって取着し、下地材4bにビス止め及び接着剤によって廻り縁4aを取着することで飾り天井Bが形成されるものである。そして、天井下地材1への連結片5の取付けは固着具6によって行われるために溶接のような特殊な取付けを行う必要がなく内装業者のような作業であっても固着具6の締め付けによって手間取ることなく簡易に取付けを行うことができるものであり、さらに、天井下地材1の側面への連結片5の当接状態を変えて固着具6によって天井下地材1と連結片5とを連結することで天井下地材1に対する連結片5の連結角度を任意に設定することができ、廻り縁4aの取付け状態を施工現場で設定して取付けることができるものである。

【0011】

【発明の効果】本発明は上述のように、天井下地材の下

10

面側に天井板を設置して構成される天井の一部に天井裏に向けて凹んだ凹所を形成し、凹所内に突出する天井の端縁に化粧縁を配設し、化粧縁の裏面より突設された連結片を天井下地材の先端部の側面に当接し、天井下地材と連結片を固着具にて連結固定してあるので、固着具による連結によって化粧縁の取付けを行うことができ、溶接作業のような特殊な作業を行わなくとも簡易に化粧縁の取付けを行うことができるものである。また、天井下地材の側面に当接された連結片を固着具にて天井下地材に固着するようになっていたために、施工現場で天井下地材への連結片の当接位置を変えることで天井下地材への連結片の連結状態を簡易に調整することができ、化粧縁の取付け状態を施工現場で任意に調整することができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す断面図である。

【図2】取付金物を示すものであり、(a)は正面図、(b)は側面図である。

【図3】他の実施例を示す断面図である。

20

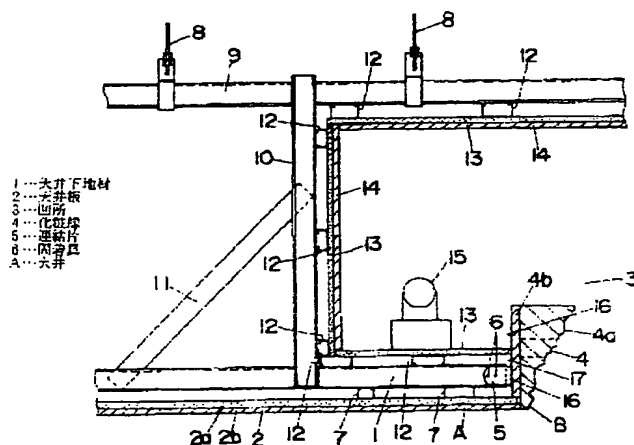
【図4】さらに他の実施例を示す断面図である。

【図5】従来例を示す断面図である。

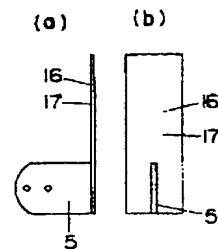
【符号の説明】

- 1 天井下地材
- 2 天井板
- 3 凹所
- 4 化粧縁
- 5 連結片
- 6 固着具
- A 天井

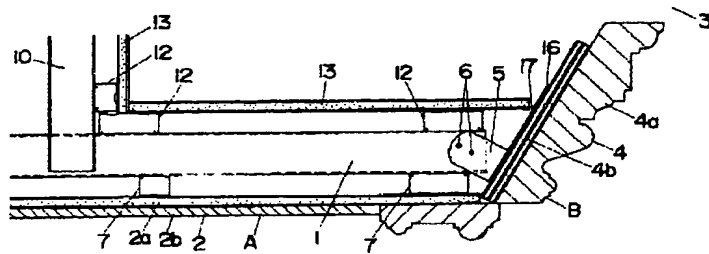
【図1】



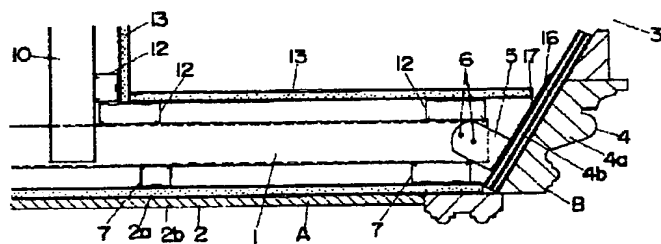
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

